

朗読劇「萤火」は、
G7広島サミットを応援しています。

朗
読
劇

螢

「ピカなんかに負けまあや」

ヒロシマから贈る市民による朗読・音楽・映像のメッセージ

作・演出
久保田 修司

火

2023年

5月17日(水) 19:00～
18日(木) 15:00～
19:00～

JMSアステールプラザ中ホール
広島市中区加古町4-17

一般 前売り 2,000円 (当日 2,500円)
高校生以下 前売り 800円 (当日 1,000円)
(未就学児の入場は不可とさせていただきます)

<あらすじ>

主人公・葉子の弟・明(72)が、大学生の孫・花凛を連れて螢を観に行きます。幻想的に乱舞する螢。明は亡くなった姉・葉子のことを思い出します。原爆で右手に火傷を負い、手術、結婚、子育て、被爆証言活動、助けてくれたアメリカ軍兵士との再会、戦後を逞しく生き抜いた葉子の半生を語りだすのです。

*朗読劇「萤火」は広島平和記念資料館の「焼け跡に立つ少女」藤井幸子さんをモデルにして創作したオリジナルフィクションです。

朗読劇「萤火」は、皆様からの寄付を募っております。

共催：朗読劇「萤火」制作委員会
広島市原爆被害者の会

後援：広島市、広島市教育委員会、広島サミット県民会議、舟入・市女同窓会、広島県原爆被害者団体協議会(箕牧理事長)、広島県原爆被害者団体協議会(佐久間理事長)、特定非営利活動法人ワールド・フレンドシップ・センター、広島商工会議所、広島経済同友会、一般社団法人広島青年会議所、広島県地域女性団体連絡協議会、広島市地域女性団体連絡協議会、公益財団法人広島YWCA、広島県合唱連盟

問い合わせ先 朗読劇「萤火」制作委員会

TEL 080-4131-0866 (久保田)
Email miwasan521@gmail.com



【脚本を読んだ方々の感想】

「世代を超えて平和への想いをバトンタッチしていく、義務と希望を感じた本当に強く素敵な作品でした。」

「この朗読劇がヒロシマから全国へ、そして世界へ広がって欲しいです。」

「広島以外の方々にも見ていただきたい。自分のように、広島県外から来た人間だからこそ感じる思いがある。」

「私もずっと広島にいるのに、知らないことが多い。ちゃんと伝えられる親になりたい。」

「蛍の情景がストーリーに情緒を持たせていて、映像が浮かんできた。」

【チケットのお買い求め】

下記内容をメールまたは電話でお伝えください。

- ①氏名(ふりがな)
- ②電話番号
- ③チケット枚数・種別
- ④希望公演日時
(例:5/17 19時 一般 2枚)

スマホでQRコードを読み取り、必要事項を入力して申し込むことも出来ます。



メールから



フォームから

e-mail miwasan521@gmail.com TEL 080-4131-0866 (久保田)

facebookで発信中!!

朗読劇「**萤火**」

稽古の様子やお知らせなどを発信します。緊急事態などによる開催の可否についてもこちらでお知らせします。

